

にほん けいさつ 日本の警察

動画リンク: https://youtu.be/k-YOffra_zg

こんかい にほん けいさつ まな にほんご べんきょう
今回は「日本の警察」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があり
ます。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
がくしゅう やくだ
学習にお役立ててください。

じこ しょうかい ■自己紹介

わたし なまえ かねこ かずひこ ともだち よ にほん う
私の名前は金子和彦といいます。友達からはカズと呼ばれています。日本に生
まれて、この国でずっと暮らしてきました。

みなさんは、日本の警察についてどれくらい知っていますか？ 普段はあまり意
識しないかもしれませんが、警察はわたしたちの生活を守るために、毎日いろ
いろな活動をしています。私が警察に興味を持ったのは、いつも安心して暮ら
せるこの町が、どうやって安全に保たれているのが気になったからです。そこ
で、今日は日本の警察がどんな役割を果たしているのか、一緒に考えてみたい
と思います。

にほん まち ある けいさつかん み かれ みち
日本の町を歩いていると、警察官を見かけることがあります。彼らはただ道を
歩いているだけではなく、みなさんの安全を守るためにパトロールをしたり、
こま ひと たす
困っている人を助けたりしています。

けいさつ しごと はんざい と し こうつう じこ
警察の仕事は、犯罪の取り締まりだけではありません。たとえば、交通事故を
防ぐために、道で車や自転車の安全な使い方を指導したり、シートベルトやヘル
メットの着用をチェックしたりします。さらに、地域の学校を訪問して、子
どもたちに交通安全や防犯の大切さを教えることもあります。

また、災害が起きたときには、警察官は救助活動や避難誘導も行います。たとえば、大雨や地震などの自然災害が発生した場合、住民を安全な場所へ案内したり、救助活動に参加したりして、命を守るために迅速に動きます。そのほかにも、落とし物や迷子の対応、道案内など、私たちの生活に密接に関わる仕事もたくさんあります。このように、警察はさまざまな方法で私たちの暮らしを支えているのです。

これから、日本の警察がどうやってわたしたちの生活を守っているのか、詳しく見ていきましょう。

■警察の基本構造と役割

日本の警察制度は、国全体を安全に保つために作られています。日本の警察には大きく分けて2つの組織があります。それは「警察庁」と「都道府県警察」です。

警察庁は、国全体の警察活動をまとめる仕事をしています。たとえば、大きな事件や災害が起こったときに指示を出したり、全国の警察のルールを決めたりします。

一方、都道府県警察は、それぞれの地域で活動する警察です。たとえば、東京や大阪などの大きな都市にも、その地域の警察があり、それぞれの地域の安全を守っています。都道府県警察には、地域ごとの警察署があり、そこにいる警察官たちが地域住民のために働いています。

また、日本では「交番」という仕組みがあります。交番は町の中にあり、警察官が常にそこにいて、みなさんが困ったときに助けてくれる場所です。道を教えてもらったり、落とし物を届けたりすることができます。交番は日本の安全を守るために、とても重要な場所です。

警察の仕事は犯罪を防ぐことだけではありません。たとえば、交通安全の指導も警察の大切な仕事の一つです。交通事故を減らすために、子どもや高齢者に交通ルールを教えたり、自転車や車を安全に使う方法を伝えたりしています。さらに、災害が起きたときには、警察が人々を助け、避難場所に案内するなどの活動を行います。

このように、日本の警察は国全体の安全を守るために、さまざまな役割を持っています。それぞれの地域で活動する都道府県警察と、その活動を支える警察庁が協力し合って、日本を安全に保っています。

■警察官の1日

警察官は、様々な活動を通じて地域の安全を守るために、一日中忙しく動いています。

朝、警察官は交番や警察署に出勤し、その日のパトロールエリアや重要な案件を確認します。パトロールでは、町を巡回しながら、事件や事故が起きていないかをチェックします。通報があればすぐに現場に向かい、状況に応じて対応します。たとえば、交通事故が発生した場合、事故現場で交通整理を行い、関係者から事故の状況を詳しく聞き取る作業を行います。

パトロール以外にも、地域の学校や住民を対象にした防犯活動を行うこともあります。特に、小学生には安全な交通ルールや犯罪に巻き込まれないための方法を教えます。また、交番では道案内をしたり、落とし物を受け取ったりするなど、地域住民とのやり取りも日常的に行われています。これらの活動を通して、警察官は地域社会と信頼関係を築きながら、安全な生活環境を守る役割を果たしています。

夜になると、犯罪や事故のリスクが高まるため、警察官の活動はさらに忙しくなります。夜間のパトロールでは、町の暗い場所や人通りの少ないエリアを重点的に巡回し、何か異常があれば即座に対応します。夜勤の警察官は、24時間勤務のスケジュールに従いながら、疲労がたまりやすい状況でも地域の安全を守るために尽力しています。

警察官は、朝から夜まで様々な仕事を通して町の安全を守るために働いており、日々の業務が地域社会の平和を支える大切な役割を果たしています。彼らの努力によって、私たちは安心して生活することができているのです。

■日本独自の「交番」

日本の交番制度は、世界でも珍しい警察の仕組みです。交番は、地域社会と警察をつなぐ大切な役割を果たしており、日本中の町に存在します。交番には警察官が常駐していて、道案内や迷子の対応、落とし物の管理など、地域住民が日常的に利用できる場所です。交番に警察官がいることで、地域住民は何か困ったことがあればすぐに相談でき、町全体が安心して生活できる環境が保たれています。

交番の警察官は、ただそこにいるだけでなく、地域をパトロールしたり、住民と話をして安全を確認したりもしています。たとえば、パトロール中に怪しい動きがないかを確認し、何か問題があればすぐに対応します。また、交番では住民からの相談を受けたり、地域の防犯活動にも積極的に参加します。こうした活動を通じて、警察官と住民が協力し合い、地域の安全が守られているのです。

交番のもう一つの特徴は、地域住民との信頼関係を築く場所であるという点です。日本では、警察官が地域住民に直接関わることで、住民たちは警察を身近な存在と感じます。交番に来る人々は、困ったときだけでなく、ちょっとした相談や道案内など、さまざまな理由で訪れます。このように、交番は犯罪を防ぐだけでなく、地域の人々と警察が日々の生活の中で関わり合う場でもあります。

交番制度は、日本の警察が地域に根ざして活動していることを示しています。地域に密着した警察活動によって、犯罪の発生を未然に防ぎ、地域住民が安心して暮らせる環境が整えられています。

さらに、交番制度は地域住民と警察の信頼関係を築くためにも役立っています。交番の警察官は、地域住民と顔なじみになり、日常的なやり取りを通じて信頼を得ているので、住民は犯罪やトラブルがあったときにだけ警察を頼るのでなく、ちょっとした相談や不安を感じたときにも交番を訪れることができます。こうした日々の交流が、地域の安全と平和を保つために非常に重要な役割を果たしています。

交番は単なる警察の拠点ではなく、地域住民と警察と一緒に安心な町作りを進めるための中心的な場所です。交番は、地域に根ざした警察活動の象徴ともいえる存在です。

■パトロールと防犯活動

日本の警察官が行う「パトロール」と「防犯活動」は、町の安全を守るための重要な仕事です。パトロールとは、警察官が町を見回り、犯罪や事故が起こらないように警戒することを指します。パトロールには、徒歩、自転車、車など、さまざまな方法があります。特に自転車でのパトロールは、細い道や車が入れない場所にも行けるため、都市部の交番ではよく使われています。

パトロール中に警察官は、道に迷っている人を助けたり、不審な行動をしている人に声をかけたりして、地域の安全を守ります。また、パトロール中に通報があれば、すぐに現場に向かって対応することもあります。たとえば、交通事故が起こった場合、警察官は現場に急行し、事故の状況を確認して交通整理を行います。通報対応は、地域住民からの信頼を得るためにも非常に重要な役割を果たしています。

さらに、防犯活動も警察の重要な仕事の一つです。警察官は地域の学校やコミュニティセンターなどで、防犯に関する講習会を開きます。特に子どもや高齢者に対しては、犯罪に巻き込まれないための注意点や、交通安全のルールを教えます。また、地域のイベントや祭りでも警察官がパトロールを行い、トラブルが起こらないように見守っています。こうした活動は、地域住民が安心して暮らせる環境を作り出すために必要な取り組みです。

警察官は、防犯カメラの設置や、地域のボランティアグループと協力して防犯活動を行うこともあります。地域の見守り活動では、住民と協力しながら犯罪を未然に防ぐためのネットワークを作り、町全体で安全を守る仕組みを構築しています。このように、警察の防犯活動は、住民との協力によってさらに強力なものとなっています。

パトロールや防犯活動を通じて、警察官は地域の人々と直接触れ合い、信頼関係を築いています。これにより、犯罪を未然に防ぎ、地域社会の安全を保つための基盤が作られているのです。

■ 警察の課題と新しい取り組み

現代の日本社会において、警察は多くの課題に直面しています。その中でも、特に大きな問題となっているのが少子高齢化と都市化です。

少子高齢化とは、日本全体の人口が減少し、高齢者の割合が増えている現状です。この影響で、警察官の数も減少する傾向にあります。警察は、少ない人数で多くの地域をカバーしなければならず、効率的な運営が求められています。また、高齢者が増えることで、彼らを対象とした詐欺や犯罪が増加しており、警察はこうした新しい犯罪に対応するために、特別な対策を取らなければなりません。

また、都市化も警察にとって大きな課題です。都市化が進むことで、犯罪の種類や発生場所が変化し、大都市ではより高度な犯罪が発生する傾向があります。例えば、サイバー犯罪や詐欺、組織的な犯罪などが増えており、これに対応するためには、警察の技術力や専門的な知識が必要とされています。特にサイバー犯罪は、インターネットを使った詐欺や情報の盗難が多発しており、警察は新しい技術を活用してこれに対処しています。

こうした課題に対応するため、日本の警察は新しい技術を取り入れています。防犯カメラやAI（人工知能）などの先進技術を使って、犯罪を未然に防ぐ取り組みが進んでいます。たとえば、防犯カメラは、犯罪が起きたときに犯人を特定するためだけでなく、犯罪の抑止力としても機能しています。また、AI技術を使ったパトロールや犯罪予測システムも導入され始めており、今後さらに広がっていくと期待されています。

これからの警察は、こうした技術革新をさらに進めながら、新しい犯罪に対処していく必要があります。警察は市民の協力を得ながら、社会の変化に対応する力を持つ必要があります。新しい技術の導入と共に、警察官自身もスキルを高め、柔軟に対応できるような体制を整えることが、これからの警察の大きな使命となっています。

■日本と他国の警察の違い

他国の警察制度には、日本と異なる特徴があります。たとえば、多くの国では、地域に密着した交番のような施設はなく、警察官は主に事件や事故が発生した際に出動する形式をとっています。

つまり、普段から地域住民との接触が少なく、犯罪やトラブルが発生したときに初めて警察が対応するケースが多いのです。これに対して、日本の交番は、犯罪や事故が起こる前から警察官が地域をパトロールし、住民との信頼関係を築くことで犯罪の抑止効果を高めています。

また、警察の役割や取り組みも国によって異なります。日本では、犯罪の予防に重点を置き、地域社会との連携を強化することが重要視されています。これに対して、他国では事件が起きた後の対応に重きを置いていることが多く、迅速な捜査や犯人の逮捕が警察の主な役割とされています。たとえば、アメリカやヨーロッパの一部では、犯罪発生後の対応に高度な技術や専門的な捜査方法が用いられていますが、日本では日常的なパトロールや防犯活動が主軸となっています。

このように、日本の警察制度は他国と比較して、犯罪を未然に防ぐための地域密着型の活動に力を入れており、それが高い治安を保つ一因となっています。

■日本の治安が守られている理由

日本の治安が世界的に見ても良いとされる理由には、警察の努力だけでなく、地域住民や行政との協力が大きく関わっています。まず、日本では警察が地域社会に密着していることが特徴的です。交番やパトロールを通じて、警察官が常に地域住民の身近に存在し、住民の安心感を高めています。交番の制度は、地域住民が警察にすぐに相談できる環境を整えることで、事件や事故が未然に防がれるという大きな役割を果たしています。

さらに、日本の地域社会には「見守り活動」や「防犯ボランティア」といった、住民が自ら地域の安全を守る取り組みが広く根付いています。これにより、地域全体で安全を確保しようという意識が強く、警察だけでなく住民も一緒に治安維持に貢献しています。たとえば、子どもたちの登下校時に地域住民が見守る活動や、商店街の防犯パトロールなどがあります。こうした市民の協力が、日本の犯罪発生率の低さを支えています。

また、日本では防犯カメラや街頭照明の設置が徐々に進んでおり、これが犯罪の抑止力として機能しています。防犯カメラは犯罪が起きた際の証拠収集にも役立ちますが、それ以上に、犯罪を未然に防ぐという役割が大きいです。多くの地域で、カメラや照明の設置が進むことで、犯罪が発生しにくい環境が整っています。さらに、警察と住民が情報を共有し合うことが、迅速な対応につながり、地域の安全を高めています。

このように、日本の治安の良さは、警察と地域住民、さらには行政の協力によって成り立っています。犯罪が起きにくい環境を作るために、警察は地域に密着した活動を行い、住民も積極的に協力しています。これが、日本が世界的にも治安の良い国とされる理由の一つです。

日本に来た際はぜひ日本の警察官の姿を探して、この人たちのおかげで日本の治安が守られていることを実感していただけたらと思います。

「日本の警察」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

